



eF-1Gセキュリティホワイトペーパー

1.0版

株式会社イー・ファルコン

1 利用者との責任分界点

株式会社イー・ファルコンの責任

株式会社イー・ファルコンは、以下のセキュリティ対策を実施します。

- eF-1Gアプリケーションのセキュリティ対策
- eF-1Gアプリケーションに保管されたお客様データの保護
- eF-1Gアプリケーションの提供に利用するミドルウェア、OS、その他インフラのセキュリティ対策

お客様の責任

お客様は、以下のセキュリティ対策を実施する必要があります。

- 各利用者に付与されたパスワードの適切な管理
- eF-1G受検者アカウントの適切な管理(登録、削除、組織管理者権限の付与など)

2 データ保管場所

- お客様からお預かりしたデータは、原則、AWS（東京リージョン）に保管されます。サブプロセッサーにより処理・保管されるデータの保管場所は「17. 外部クラウドサービスの利用」に記載しています。

3 データの削除

【受検者向け】

- アカウント削除後、1年間データを保持したうえで削除
- 対象情報
 - 受検者のアカウント情報(に含まれるPII)

【利用企業向け】

- 契約終了後、1年間データを保持したうえで削除
- 対象情報
 - 利用企業担当者のアカウント情報(に含まれるPII)
- 利用規約およびプライバシーポリシーで合意を取得した内容に準ずる

4 利用者登録および削除

- お客様は、契約の範囲内において、いつでも自由にユーザーの登録・削除を行うことが可能です。

【操作手順書】

- 組織管理者を追加、削減する方法
https://www.e-falcon.co.jp/support_site/user/editing

※利用または契約前に閲覧を希望する場合は、弊社営業担当へ連絡してください。

5 アクセス権の管理

- お客様は、登録したユーザーの権限を、自由に切り替えることが出来ます。組織管理者権限を付与することで、各種機能の管理画面にアクセスすることが可能です。

【操作手順書】

- 組織管理者を編集する方法
https://www.e-falcon.co.jp/support_site/user/editing

※利用または契約前に閲覧を希望する場合は、弊社営業担当へ連絡してください。

6 認証設定の方法

新規登録したユーザーには登録時に設定したメールアドレス宛にパスワード設定URLが自動で配信されます。

ユーザーはパスワードを忘れた場合、自らパスワードの再設定を行うことが可能です。

【操作手順書】

- パスワードを再設定する
 - ログイン画面の「パスワードをお忘れの方」からお手続き可能です

※利用または契約前に閲覧を希望する場合は、弊社営業担当へ連絡してください。

ユーザーは必要に応じて二要素認証を設定することが可能です。

【操作手順書】

- 二要素認証を設定する
https://www.e-falcon.co.jp/support_site/user/editing-0

※利用または契約前に閲覧を希望する場合は、弊社営業担当へ連絡してください。

7 暗号化の状況

全般

- データベースに保管される、お客様の各種情報(氏名、メールアドレス、各機能で利用するデータなど)は、適切なアクセス権のもとで保管され、パスワードなどの機密情報は、不可逆暗号化(ハッシュ化)された状態で、データベースに保管されます。
- お客様の端末と、システムとの間のインターネット通信は、SSL通信(SHA256)によって暗号化されます。

8 変更管理

- サービスのバージョンアップ情報を始めとした、各種の変更に関する情報は、サービスログイン後のWebページより閲覧することが可能です。
- また、サービスのバージョンアップが実施された場合、サービス登録時にご提供いただいたメールアドレスに対し、メールにてご連絡いたします。

9 管理者向けマニュアルの提供

- お客様が利用できる手順書は、下記リンク先より閲覧することが可能です。
 - マニュアル https://www.e-falcon.co.jp/support_site

10 バックアップの状況

- データベースに保管される、お客様の各種情報(氏名、メールアドレス、各機能で利用するデータなど)は、日次でバックアップを取得し、35世代分保管されます。また、35日間どのタイミングにも復元可能な機能を導入しております。
- お客様のアカウント削除や契約終了によりサービス環境から削除された個人情報(PII)は、論理削除された後もバックアップデータ内には一定期間維持されます。これらのデータは、バックアップの保持期間(最大35日間)が経過した時点で、システム保護の再構築処理にともない完全に消去・破棄され、復元不可能な状態となります。
- 但し、お客様によるバックアップデータの復元等に関する要望は、承っておりません。

11 ログのクロックに関する情報

- eF-1Gサービス内で提供されるログは、タイムゾーンJST(UTC+9)で提供されます。
- ログの時間は、AWSが提供するNTPサービスと同期しています。

12 脆弱性管理に関する情報

- eF-1G開発チームは、システムで利用しているOS、ミドルウェア等に関する脆弱性情報を、定期的に収集しています。
- システムで利用しているコンポーネントに対する脆弱性パッチが公開された場合は、テスト環境での検証を経た後、速やかに適用されます。

13 インシデント発生時の対応

- お客様に大きな影響を与えるセキュリティインシデント(データの消失、長時間のシステム停止等)が発生した場合は、インシデントの発生及び影響を検知後、遅滞なく(目標時間:72時間以内)eF-1G利用契約時にご提供頂いた組織管理者のメールもしくは電話に連絡します。
- 情報セキュリティインシデントに関する問合せは、本セキュリティホワイトペーパー末尾の窓口より受け付けています。

14 お客様データの保護及び第三者提供について

- お客様からお預かりした個人情報を含むデータの第三者提供についてはプライバシーポリシーにて明記し合意を取得しています。
- お客様から預かったデータを適切に保護することは、株式会社イー・ファルコンの責任です。ログデータを含むお客様データは、不正なアクセスや改ざんを防ぐため、eF-1G開発チームの一部の人間しかアクセスできない、限られたアクセス権のもとで保管されます。
- 但し、裁判所からの証拠提出命令など、法的に認められた形でお客様のデータの提供を要請された場合、株式会社イー・ファルコンは、お客様の許可なく、必要最小限の範囲で、お客様情報を外部に提供する可能性があります。

15 適用法令

- お客様と株式会社イー・ファルコンとの間の契約は、日本法に基づいて解釈されるものとします。

16 認証

- 株式会社イー・ファルコンは、情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する、ISMS適合性評価制度における、ISMS認証を取得しています。また、以下適用範囲においてISO27018認証の取得を予定しています。(認証取得予定時期:2027年1月)

【ISO27018適用範囲】

eF-1Gの開発、保守、運用等のサービス提供に係るPII処理

17 外部クラウドサービスの利用

- eF-1Gでは、次に示す機能を運用するために、外部のクラウドサービスを利用しています。

クラウドサービス	機能	運営会社	扱う情報	個人情報を含む場合の保管国
AWS	インフラ構築・運用、データ保管	Amazon Web Services, Inc.	個人名、メールアドレス、受検データ、システムログ等	日本
Google Workspace	お問い合わせ管理、メール運用	Google LLC	個人名、会社名、メールアドレス、お問い合わせ内容、試験結果等	米国、日本、その他
HubSpot	CRM、顧客管理、お問い合わせ管理	HubSpot, Inc.	個人名、会社名、メールアドレス、問い合わせ履歴等	米国
board	受注・請求管理	株式会社バックオフィス	会社名、担当者氏名、請求・取引内容等	日本

※ 一部のクラウドサービス(Google Workspace、HubSpot等)の利用にあたり、個人情報を含むデータが米国等の国外サーバに保管・処理される場合があります。外国にある第三者への個人データの提供および法制度・保護措置の詳細につきましては、弊社プライバシーポリシー(<https://www.e-falcon.co.jp/privacy>)をご確認ください。

改訂履歴

版	改訂日	改訂内容
1.0	2026/10/20	初版発行

この資料に関するお問い合わせ

株式会社イー・ファルコン

TEL: 03-6262-5951

<https://www.e-falcon.co.jp/contact>